

2023年度 個人投資家向け 説明会

みずほフィナンシャルグループ

2024年3月

ともに挑む。ともに実る。





25年度までの目標と注力テーマ



お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



本日お伝えしたかったこと



質疑応答セッション



Appendix

ともに挑む。ともに実る。

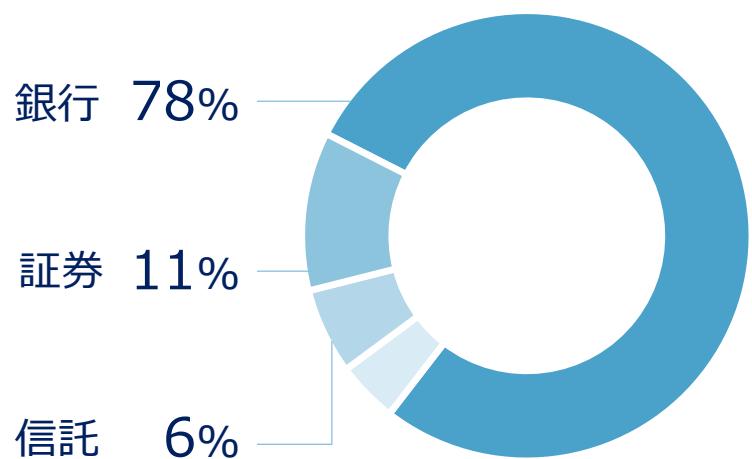
MIZUHO

みずほグループについて

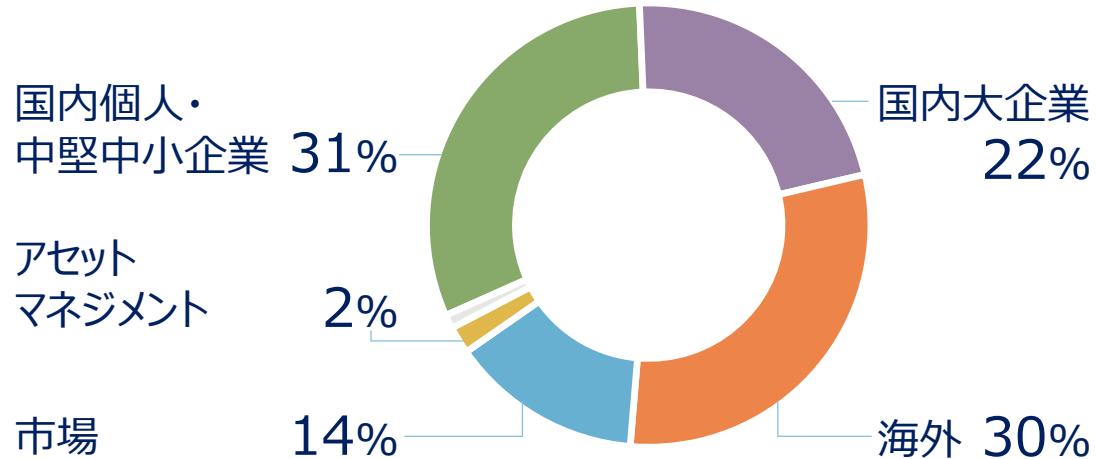
さまざまなサービスを提供しています

業務粗利益
(22年度)

グループ会社別



顧客セグメント別



国内*

745 店舗

個人口座数*

約 **22** 百万人

海外*

36 カ国

国内上場企業のカバー率*

約 **8** 割

* 23/3末時点

みずほのパークス

Mizuho's Corporate Identity

〈みずほ〉の企業理念



みずほが重点的に取組むテーマ

5つの取組みを柱に掲げています

注力ビジネステーマ



お客様の財産を守り育てる



もっと便利に使いやすく



日本企業の発展に貢献



世界と日本の架け橋に



サステナビリティ & イノベーション

成長を支える経営基盤の強化

25年度までに実現する目標

業務純益 1～1.1兆円を目指します

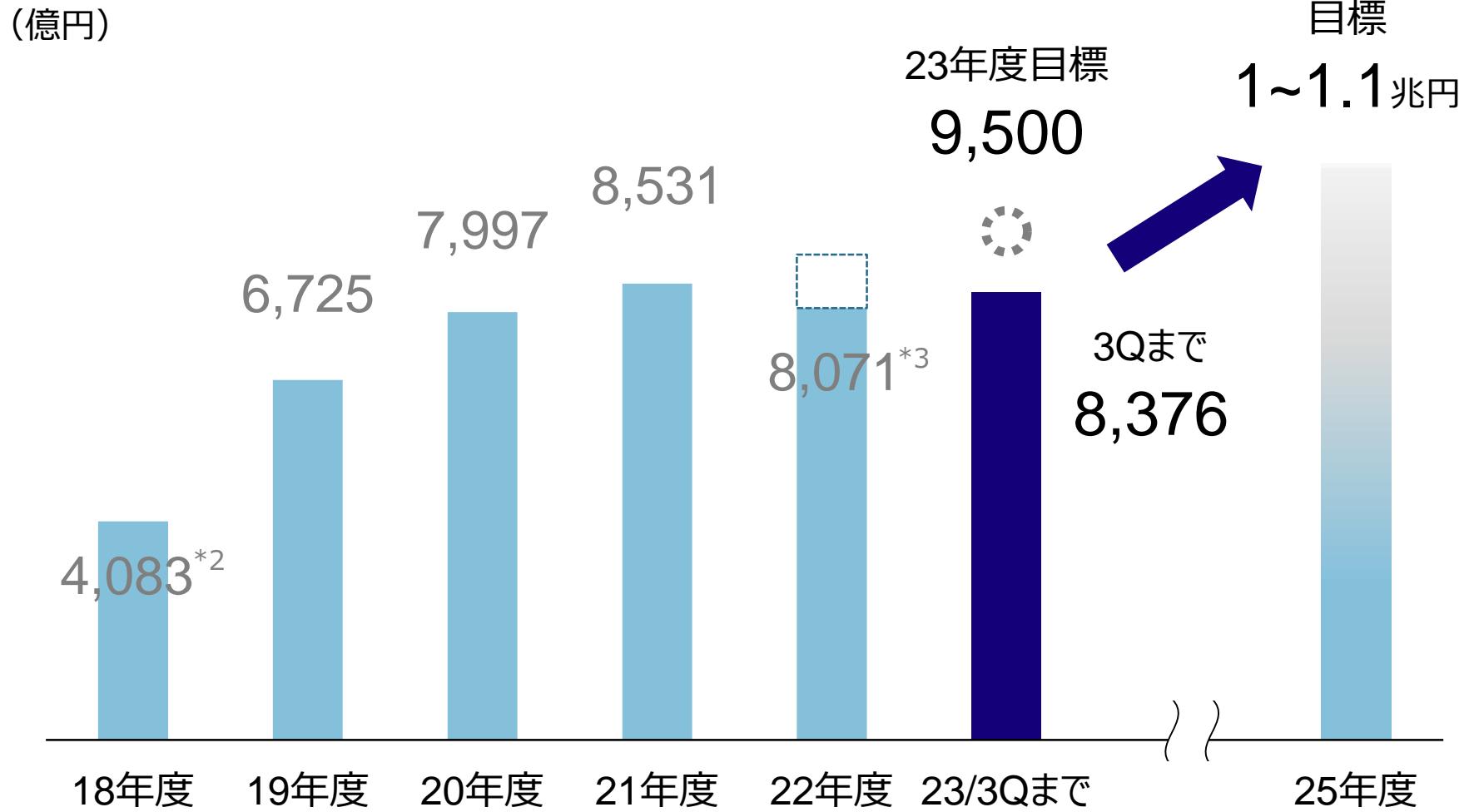
	目標	22年度実績
連結業務純益 *1	1～1.1兆円	8,071 億円
- 親会社当期純利益	7,000 億円台半ば	5,555 億円
連結ROE *2	8 %超	6.6 %
エンゲージメントスコア *3 例：みずほで働くことを誇りに思うか	65 %	51 %
インクルージョンスコア *3 例：みずほの社員同士一体的に働けているか	65 %	55 %

(前提となる金融指標) 日本国債10年利回り: 0.95%、日経平均株価: 30,000円、ドル円: 120円 (25年度)

*1: 連結業務純益+ETF関係損益等 *2: その他有価証券評価差額金を除く *3: 社員意識調査におけるエンゲージメント及びインクルージョンに関する各4設問に対する回答の肯定的回数率 (1～5の5段階で4,5を回答した割合)

連結業務純益*1

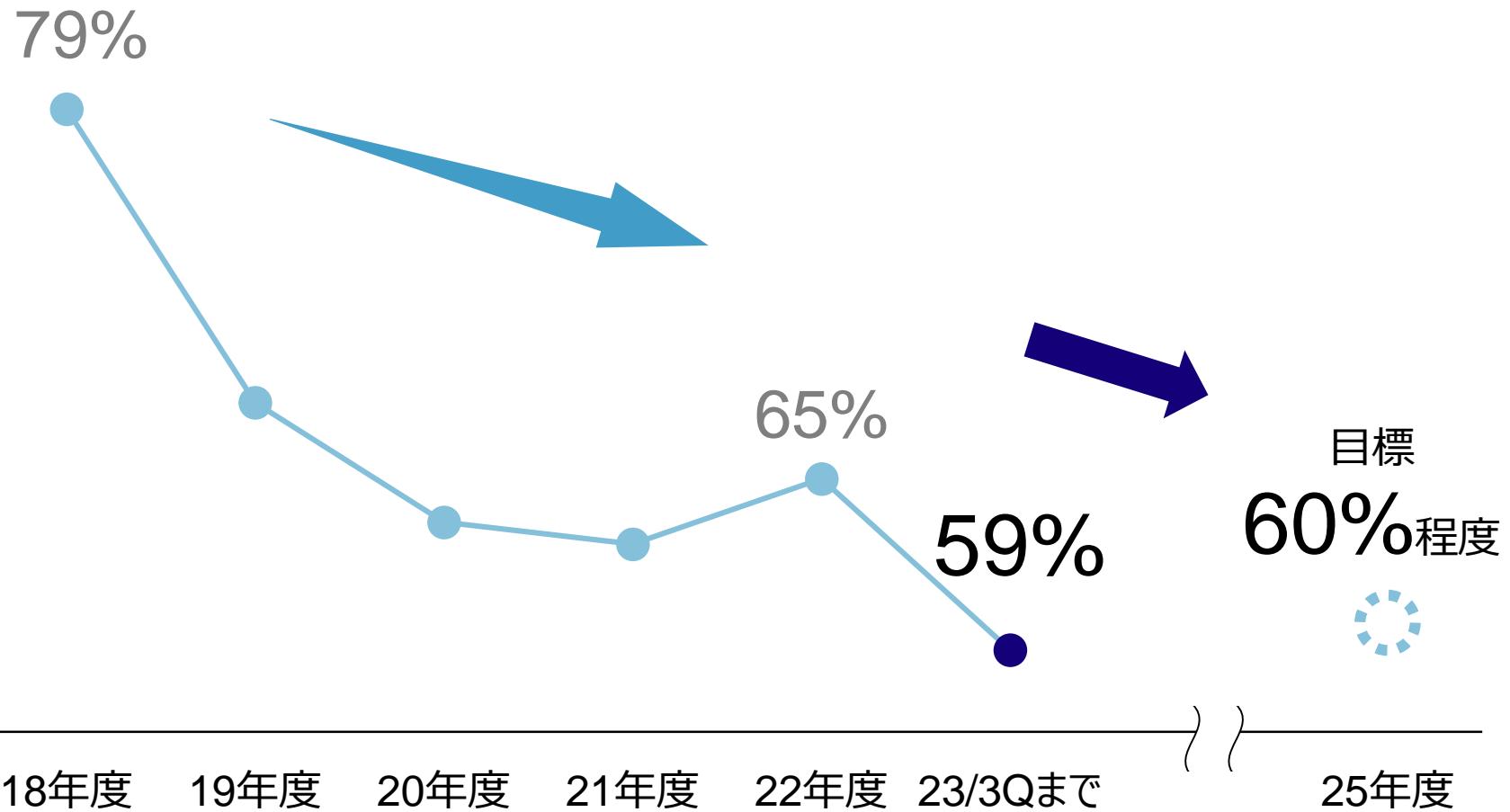
着実に改善しています



*1: ETF関係損益（2行合算）と営業有価証券等損益（みずほ証券連結）を含む *2: 一次損失処理（構造改革への取組みを踏まえた損失反映）前の計数は6,031億円 *3: 外債ポートフォリオ健全化（約1,000億円）を実施

経費率

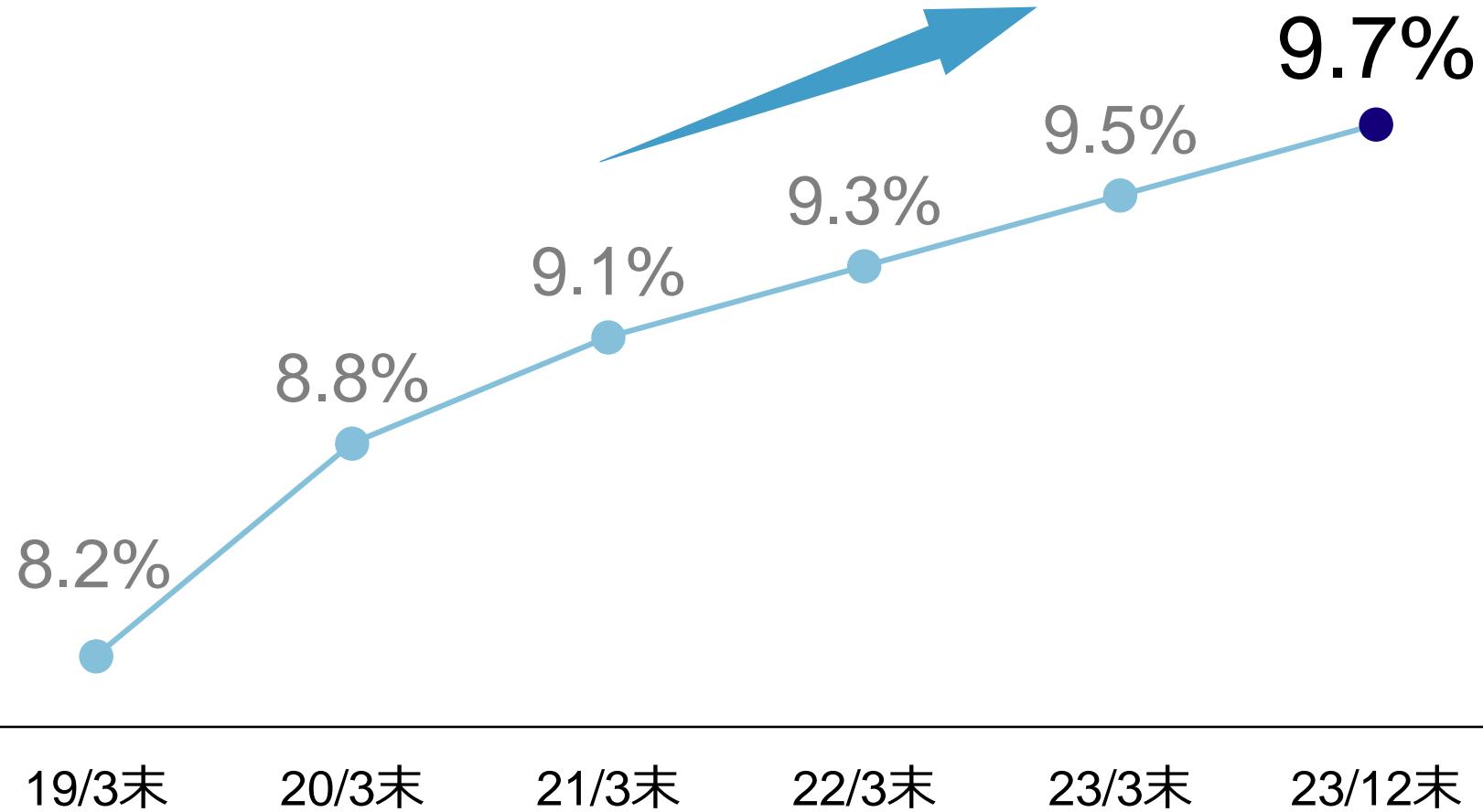
規律をもって経費をコントロールしています



普通株式等 Tier1 (CET1) 比率

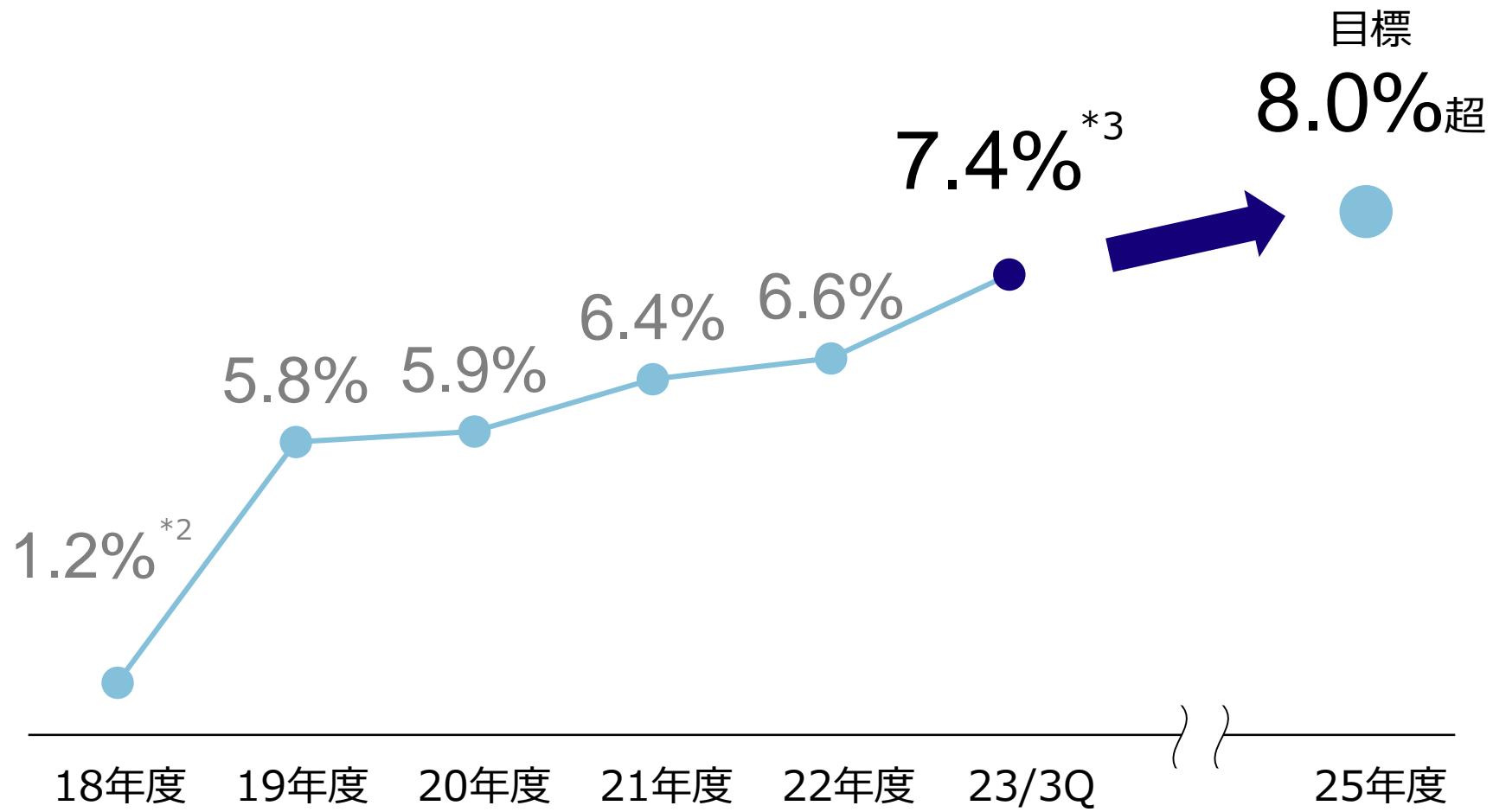
利益蓄積を通じて資本の厚みが増しています

(億円)



連結ROE^{*1} (自己資本利益率 / Return on Equity)

さらなる改善を目指します



*1: その他有価証券評価差額金を除く *2: 一時損失処理（構造改革への取組みを踏まえた損失反映）前の計数は7.4% *3: 直近12カ月

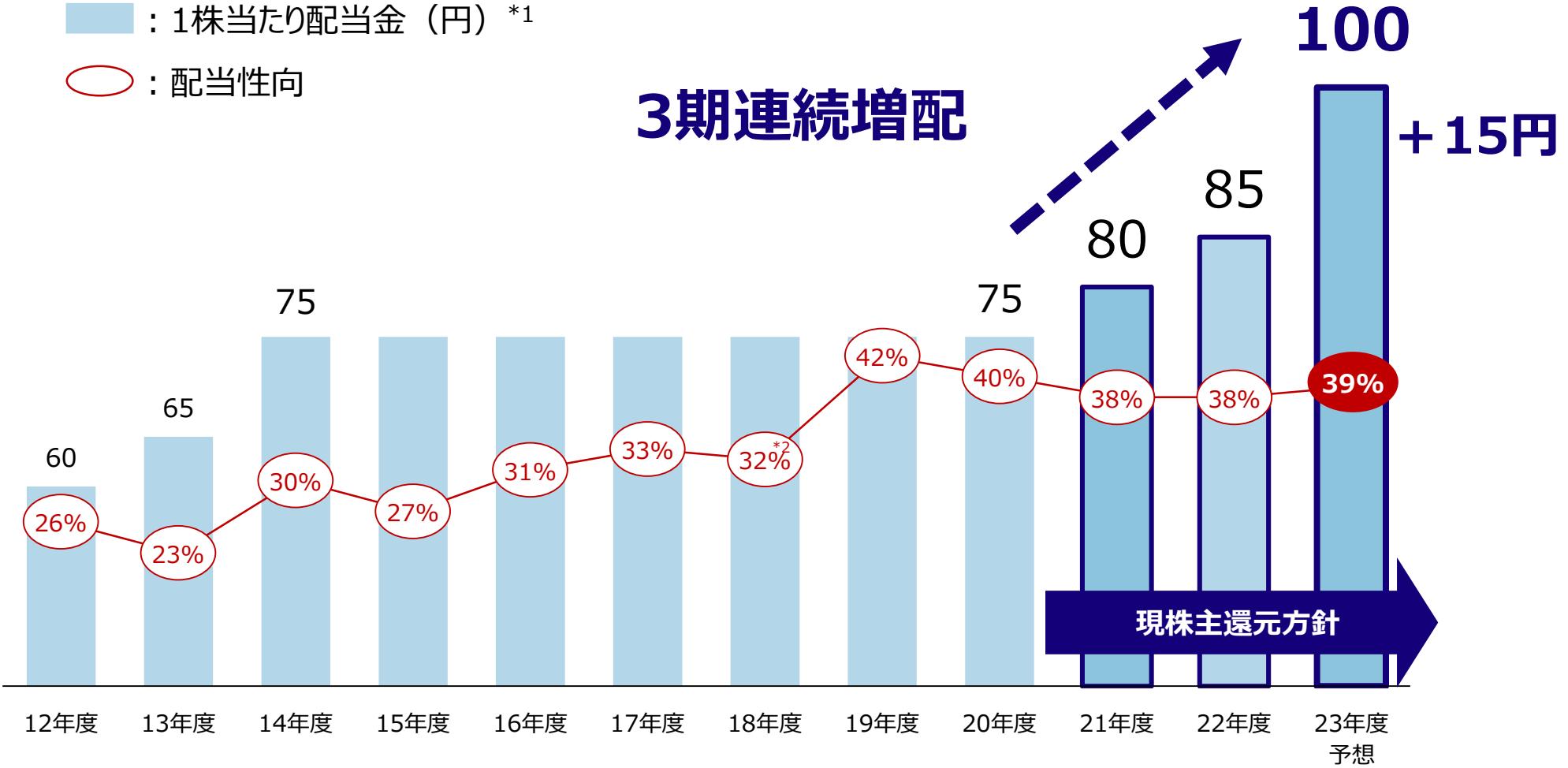
株主還元方針

みずほの配当は右肩上がりです

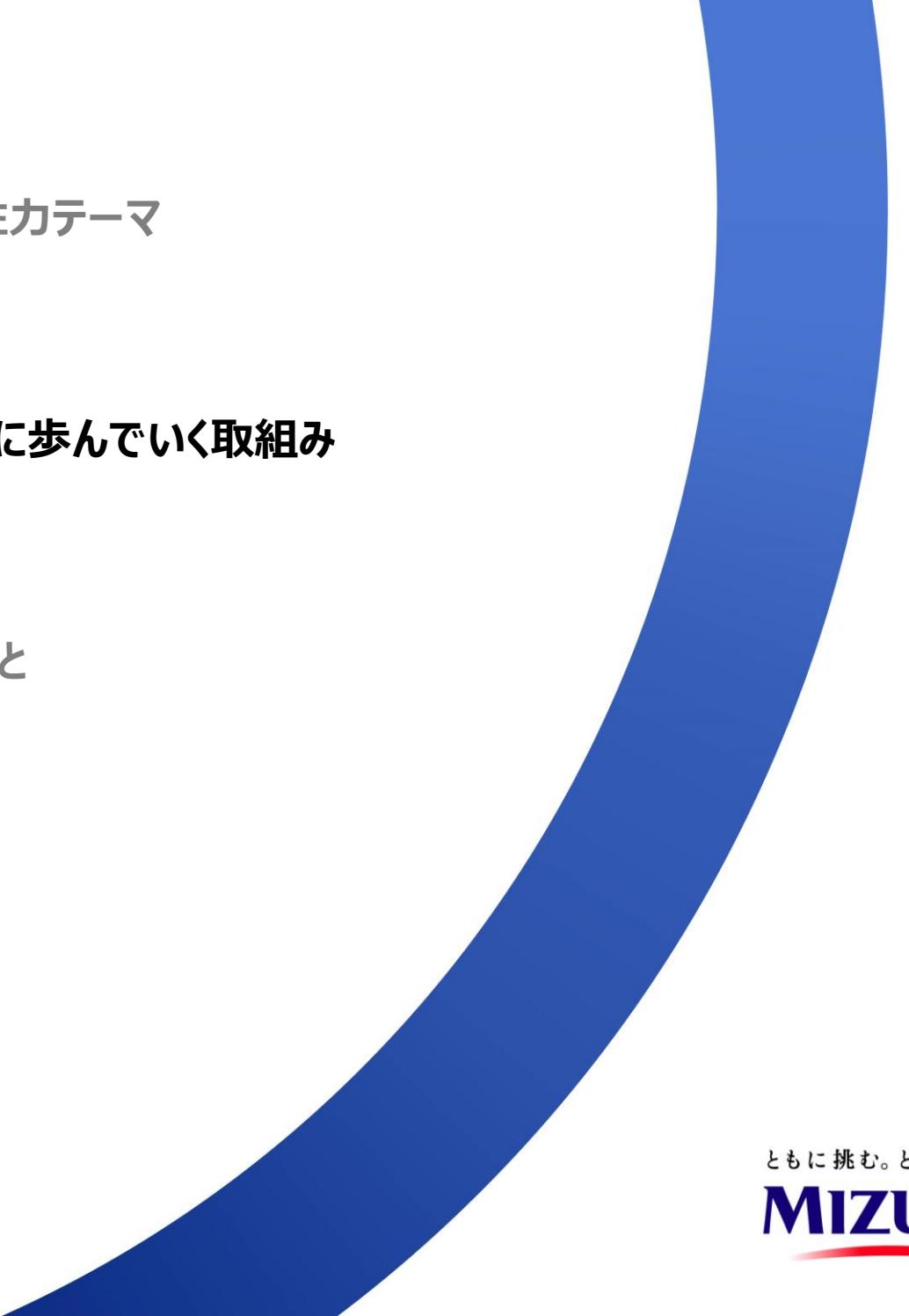
■ : 1株当たり配当金（円） *1

○ : 配当性向

3期連続増配



*1: 20年10月に実施した株式併合の影響を考慮 *2: 一時損失処理前ベース。一時損失処理後では197%

- 
- 1 25年度までの目標と注力テーマ**
 - 2 お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み**
 - 3 本日お伝えしたかったこと**
 - 4 質疑応答セッション**
 - Appendix**

2

お客さまの挑戦と、ともに歩んでいく取組み



お客さまの財産を守り育てる



もっと便利に使いやすく



日本企業の発展に貢献



世界と日本の架け橋に



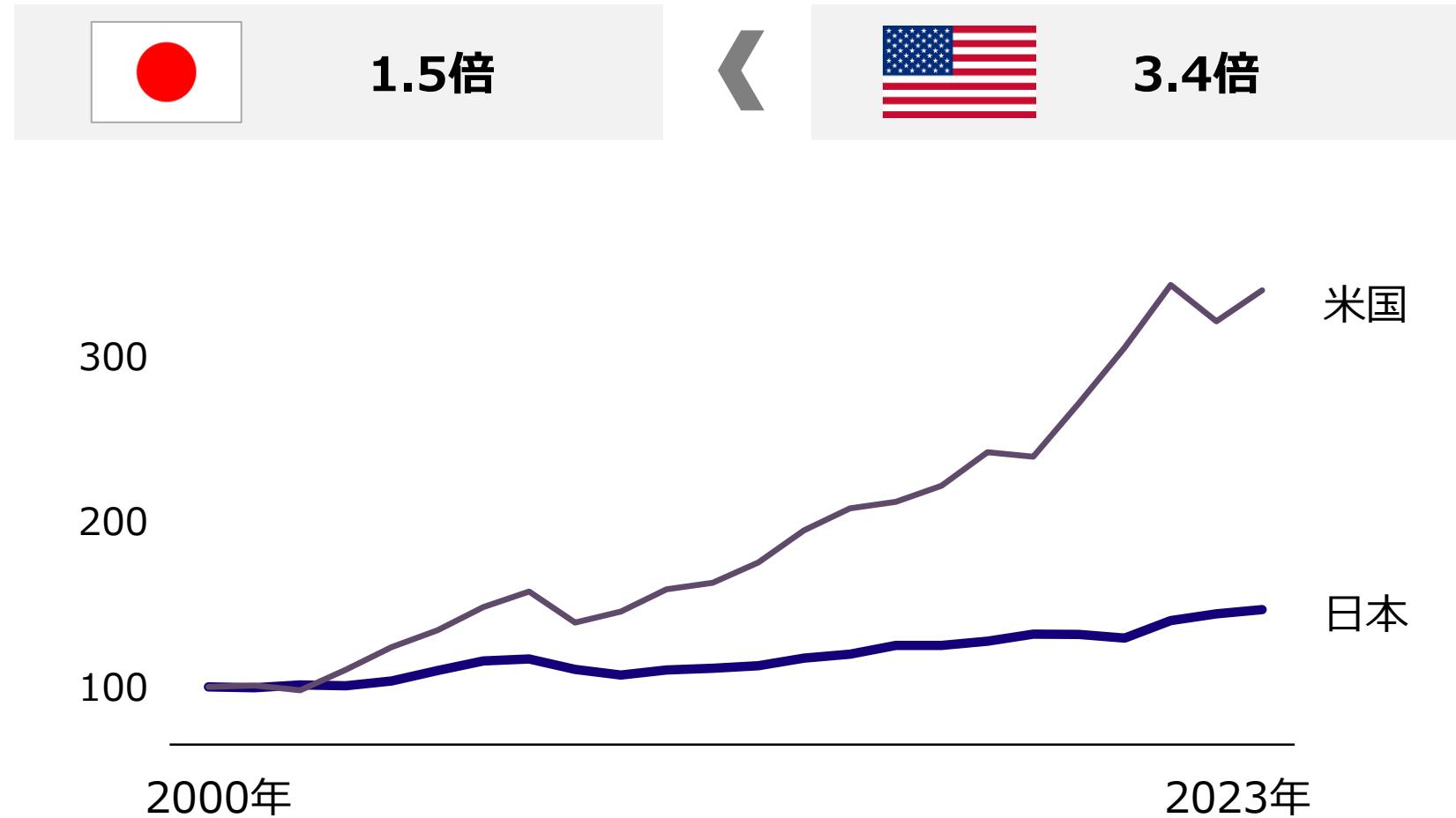
サステナビリティ & イノベーション

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

家計金融資産残高の推移*

日本は伸び悩んでいます

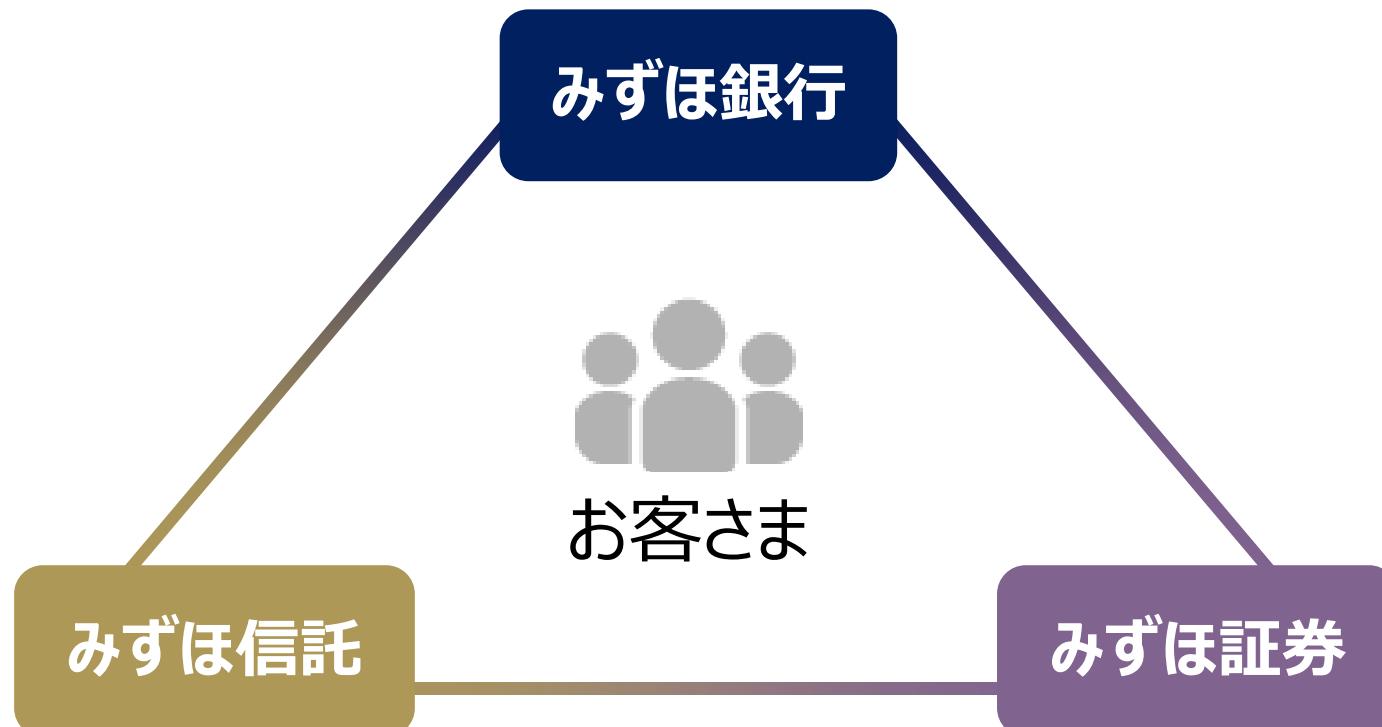


* 2000年末 = 100。歴年末、2023年のみ6月末。(出所) 日銀、FRB

みずほの総合金融コンサルティング

銀行・信託・証券一体でニーズにお応えします

ライフデザインのパートナー



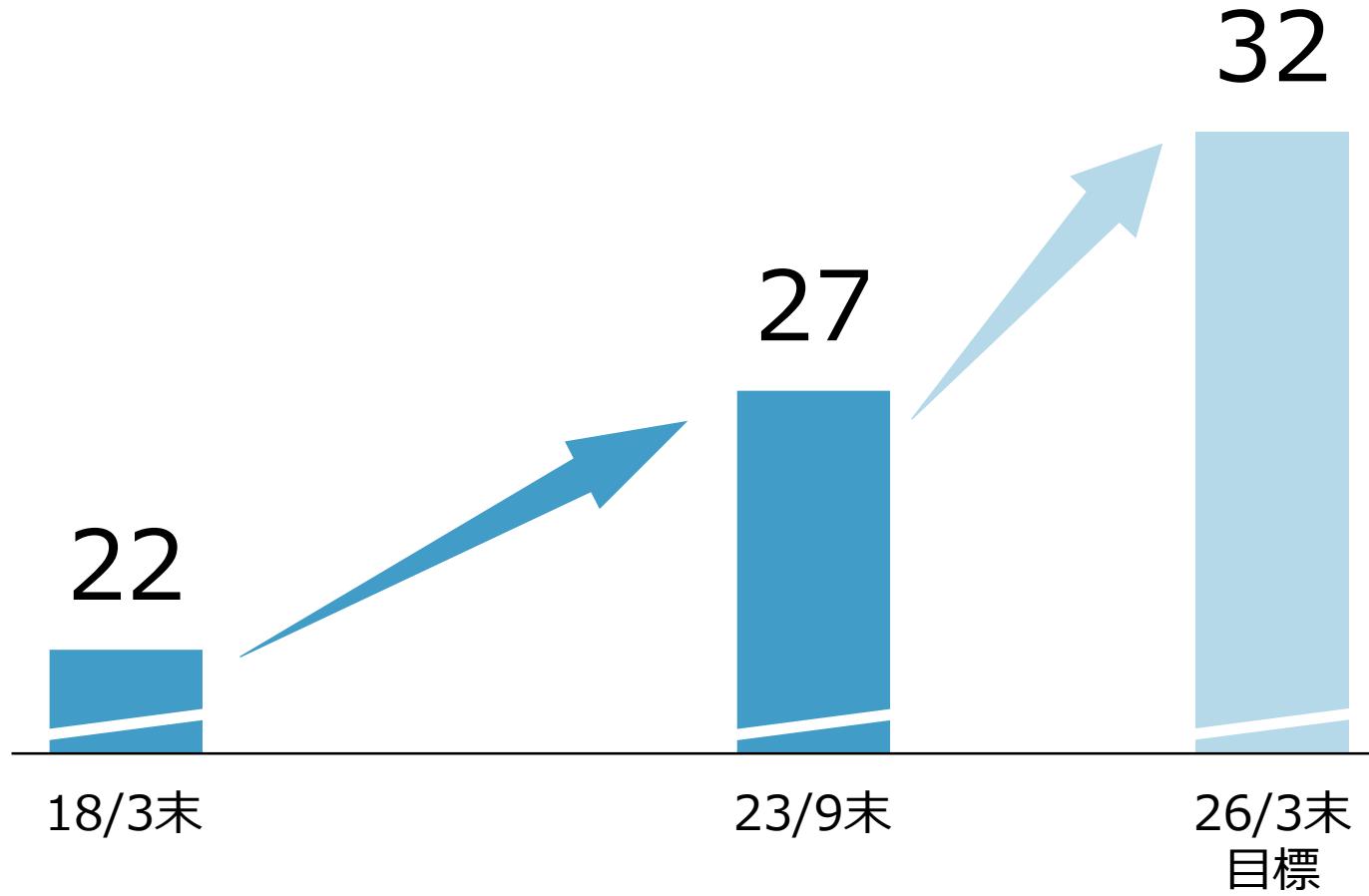
次世代への承継、
不動産

高度な運用商品
(株式、債券など)

みずほグループの預かり資産残高*

着実に増加しています

(兆円)



* 株価変動等の影響を含む。為替は計画レートを適用

コンサルティング力の強化

高度なスキルをもつ人材を増やします

個人コンサルティング人材^{*1}

23/9末 実績

1,821 名

25年度 目標



2,100 名

事業承継人材^{*2}

25年度 目標

+100 名

*1: FP1級、CFP（認定ファイナンシャルプランナーの国際資格）の取得者 *2: 2023年度より開始された社内認定制度における認定者

楽天証券との提携

対面・オンラインの両面からニーズにお応えします

MIZUHO
みずほ証券



49%出資

Rakuten
楽天証券

強み

対面型 の総合資産コンサルティング

優れた オンライン 証券プラットフォーム

NISA口座開設数

新制度の開始を受けて注目が集まっています



23月10月以降、1カ月あたり*

24月1月単月

+約 1万 口座

(前年同期比 およそ 2倍)

+約 9万 口座

(前年同期比 およそ 3倍)

* みずほ銀行+みずほ証券

みずほの店舗戦略

お客様の要望に応えるために、進化させていきます

コンサルティング型



専門型



デジタルツールの活用

使いやすさを追求していきます

みずほダイレクト



GOOD
DESIGN

ストア評価
(5段階中)

4.5



みずほWallet



みずほのアプリダウンロードはこちらから（みずほ銀行ホームページ）



2

お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



お客様の財産を守り育てる



もっと便利に使いやすく



日本企業の発展に貢献



世界と日本の架け橋に



サステナビリティ & イノベーション

ともに挑む。ともに実る。

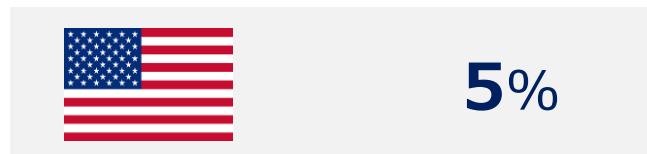
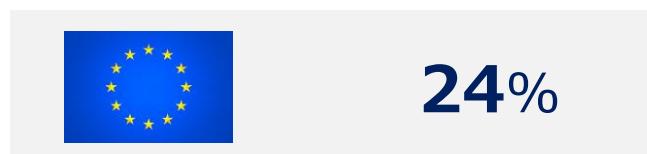
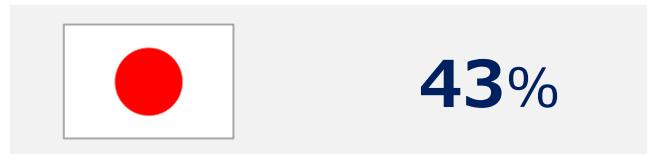
MIZUHO

日本企業を取り巻く状況

株式市場を味方にできていません

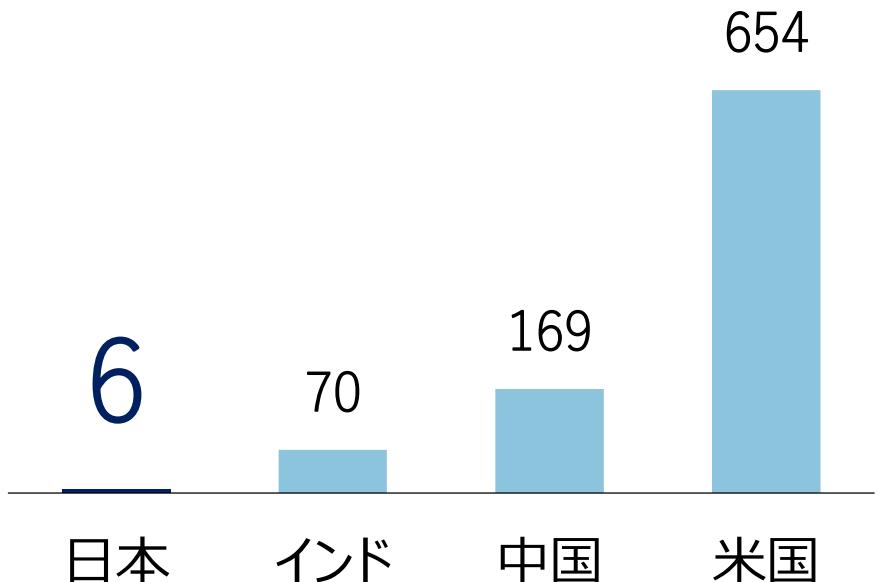
株価が、1株あたり純資産を下回っている企業

= PBR 1倍割れの企業^{*1}



ベンチャー企業から大企業に成長した会社数

= ユニコーン企業^{*2}



*1: 東京証券取引所 市場区分の見直しに関するフォローアップ会議 第5回 参考資料 *2: 2023年4月24日付 日経新聞

国内法人向けの貸出金（末残）*

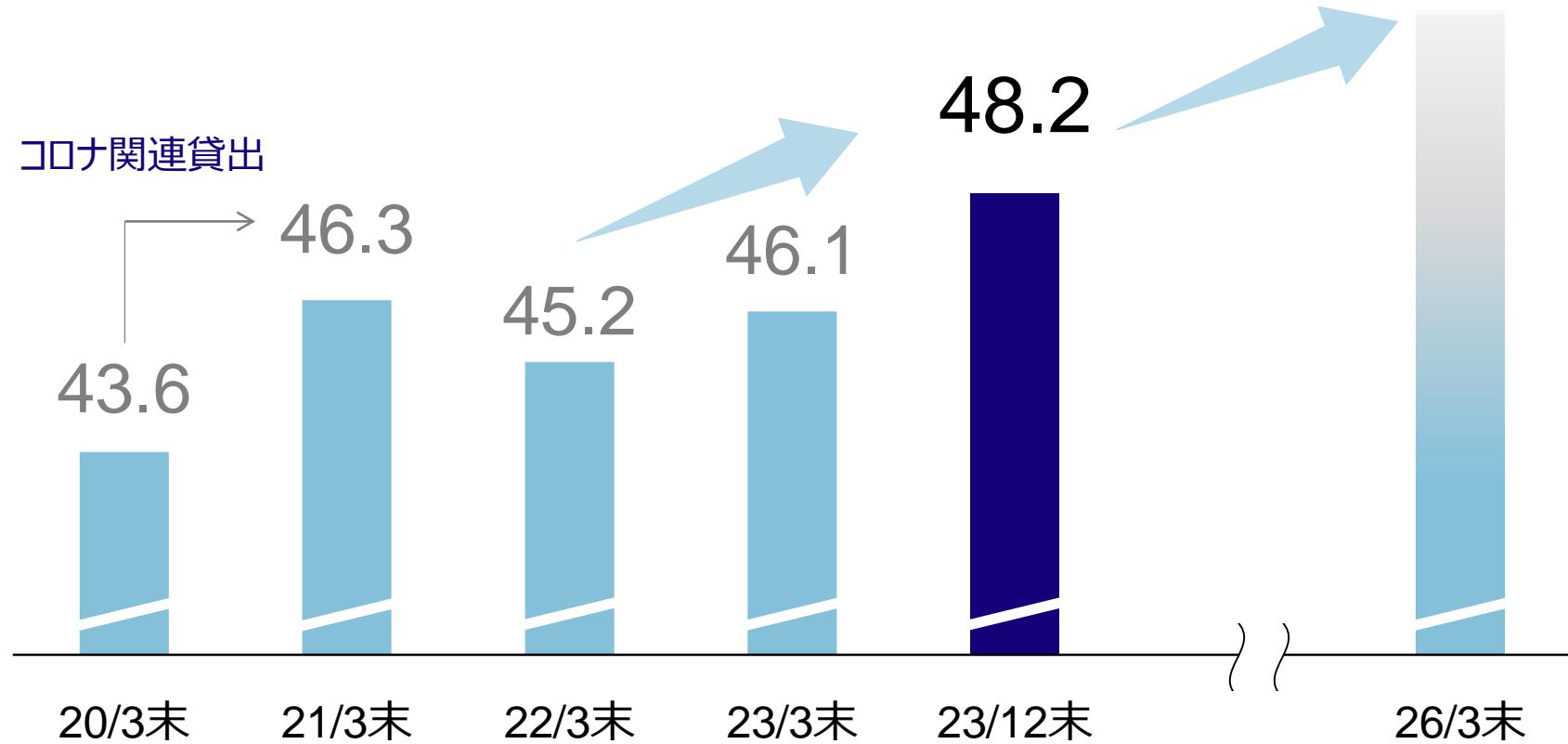
必要な資金をしっかりと提供していきます

(兆円)

年平均増加率（見込み）

+2%前後

コロナ関連貸出



* 23年度会計ルール（21/3末、22/3末は遡及修正）、20/3末は21年度会計ルール、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く

具体的なアプローチ

踏み込んだ提案をきっかけに議論が進んでいます

成長ストーリー構築の提案

PBR 1倍割れ脱却への議論

業績下方局面企業へのサポート

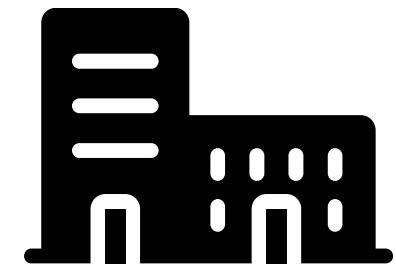
みずほ



企業分析・経営課題抽出

中堅上場企業さま

ストーリーの提案



国内法人部門の収益見通し（業務純益）

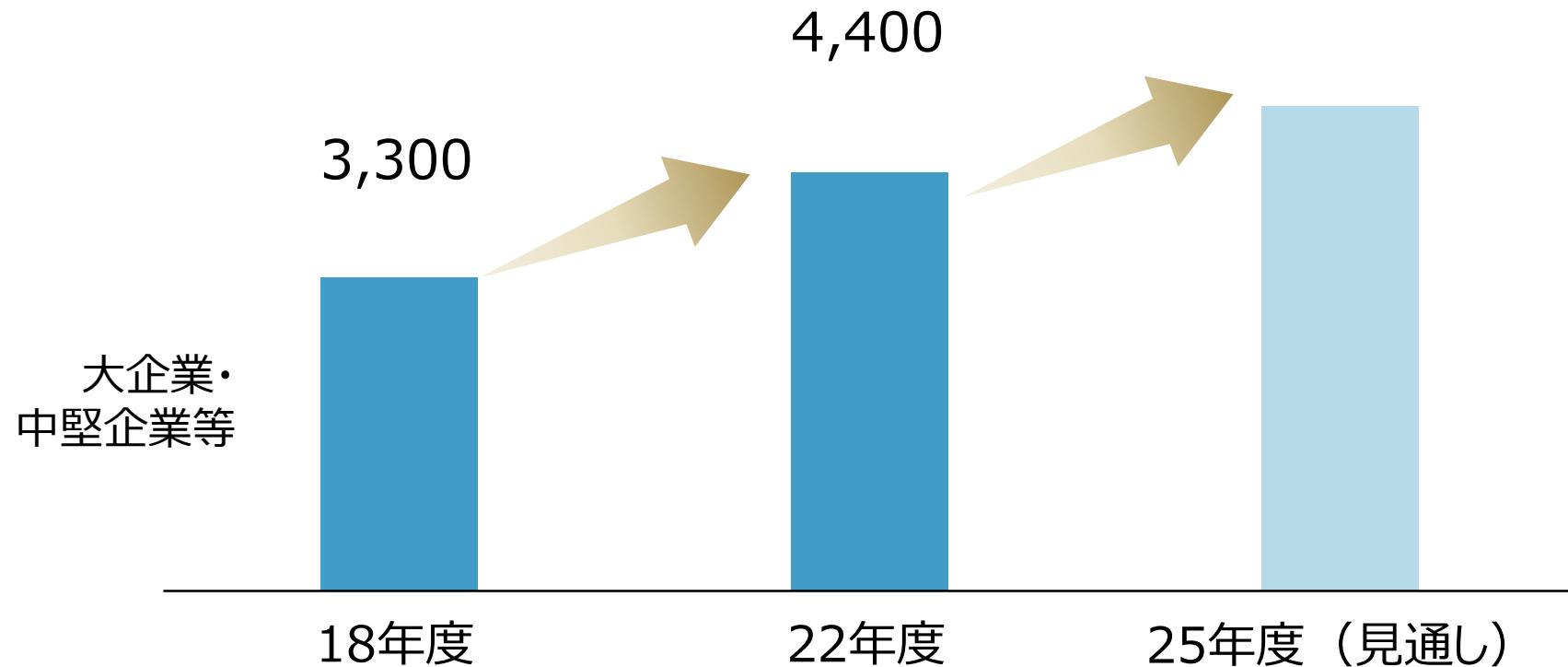
企業の成長をサポートし、みずほも成長していきます

(億円、概数)

年平均増加率

+5%

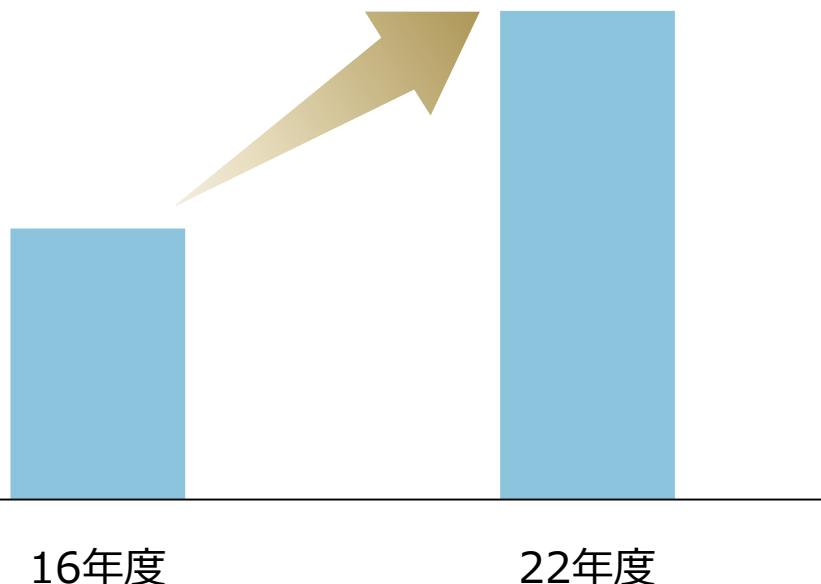
5,100



ベンチャー企業への投融資残高*

資金面のサポートを加速させています

年平均増加率
+10%



価値共創投資

- ・ 社会・取引先の課題を起点に、新しいビジネスを創出

トランジション出資枠

10年で **500億円超**

- ・ 実証段階にある技術や、創業段階の事業を育成

* みずほ銀行からのイノベーション企業5,040社（22/4基準）に対する3月末時点融資残高と、みずほフィナンシャルグループ各社からの国内のベンチャー・グロースファンド及びみずほキャピタル運用ファンド投資残高（未使用コミットメント含まず）の合計

みずほのネットワークを活用した取組み

日本最大級のイベントを開催しました



MIZUHO Startup WEEK

未来を創る、イノベーション企業とともに。

Make Our Future “Start-Up” Together

開催期間

10 日間
(2023/10/23 ~ 11/1)

参加者数*

5,000 名

*延べセッション参加者数（概算）

商談件数

961 商談

コンテンツ数

20 コンテンツ

登壇者数

75 名

トークセッション



商談会



スタートアップ企業によるピッチ



過去最大規模



ワークショップ[°]



セミナー



2

お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



お客様の財産を守り育てる



もっと便利に使いやすく



日本企業の発展に貢献



世界と日本の架け橋に



サステナビリティ & イノベーション

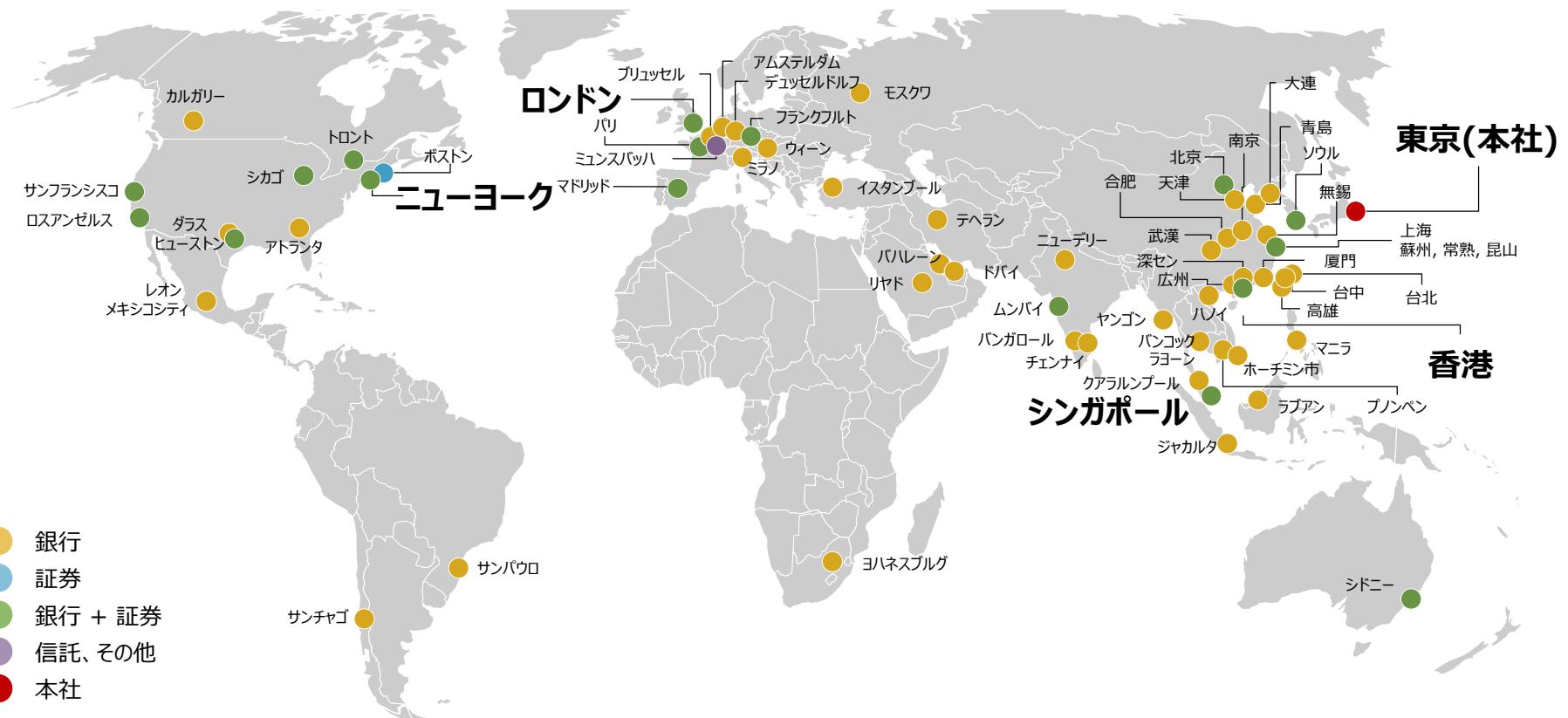
ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

みずほの海外ビジネス

幅広いネットワーク

海外 36カ国 110拠点



※2023年12月31日時点

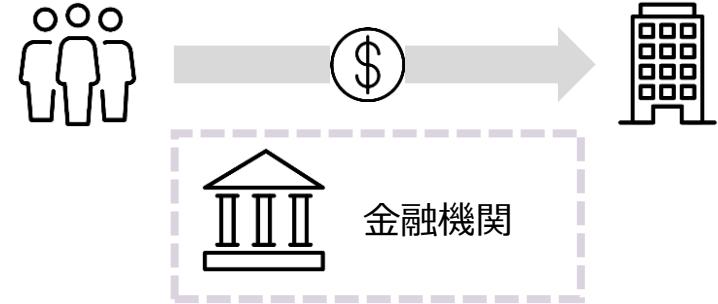
日本と海外の違い

市場特性にあわせて進化を続けています

間接金融



直接金融



2015年

- ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドより貸出債権を購入
(RBS: The Royal Bank of Scotland)
 - 北米における営業基盤
 - 経験豊富なバンカー

みずほのグローバルポジション

米州・投資銀行部門では邦銀No.1のプレゼンス

国内債券^{*1}



国内トップ

1位

米州債券^{*2}

(投資適格債)



邦銀トップ

8位

リーグテーブル（23/上）

順位	金融機関名	シェア
1	バンクオブアメリカ証券	9.6%
2	JPモルガン	9.1%
3	シティ	7.5%
4	ゴールドマン・サックス	6.2%
5	モルガン・スタンレー	6.0%
6	ウェルズ・ファーゴ	5.6%
7	バークレイズ	4.4%
8	みずほFG	3.9%
9	RBCキャピタルマーケッツ	3.8%
10	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.3%

*1: 引受金額ベース、ローンチ日ベース、サムライ債・地方債（主幹事方式）・優先出資証券を含み、自社債除く。（出所）Capital Eyeの情報をもとに、みずほ証券にて作成。23年4月～12月末までの実績

*2: （出所）Dealogic、フィーベース

30年度までの目標

さらなるポジション向上を目指します

グローバル / 資本市場ビジネス*

23/上

30年度

邦銀トップ

14位 ➞ 10位以内

* (出所) Dealogic、フィーベース、日本を含む。

今後の展望

提案力に磨きをかけていきます



2015年

- ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドより貸出債権を購入
(RBS: The Royal Bank of Scotland)
 - 北米における営業基盤
 - 経験豊富なバンカー



2022年

- Capstone Partners を買収
 - スポンサービジネスを強化



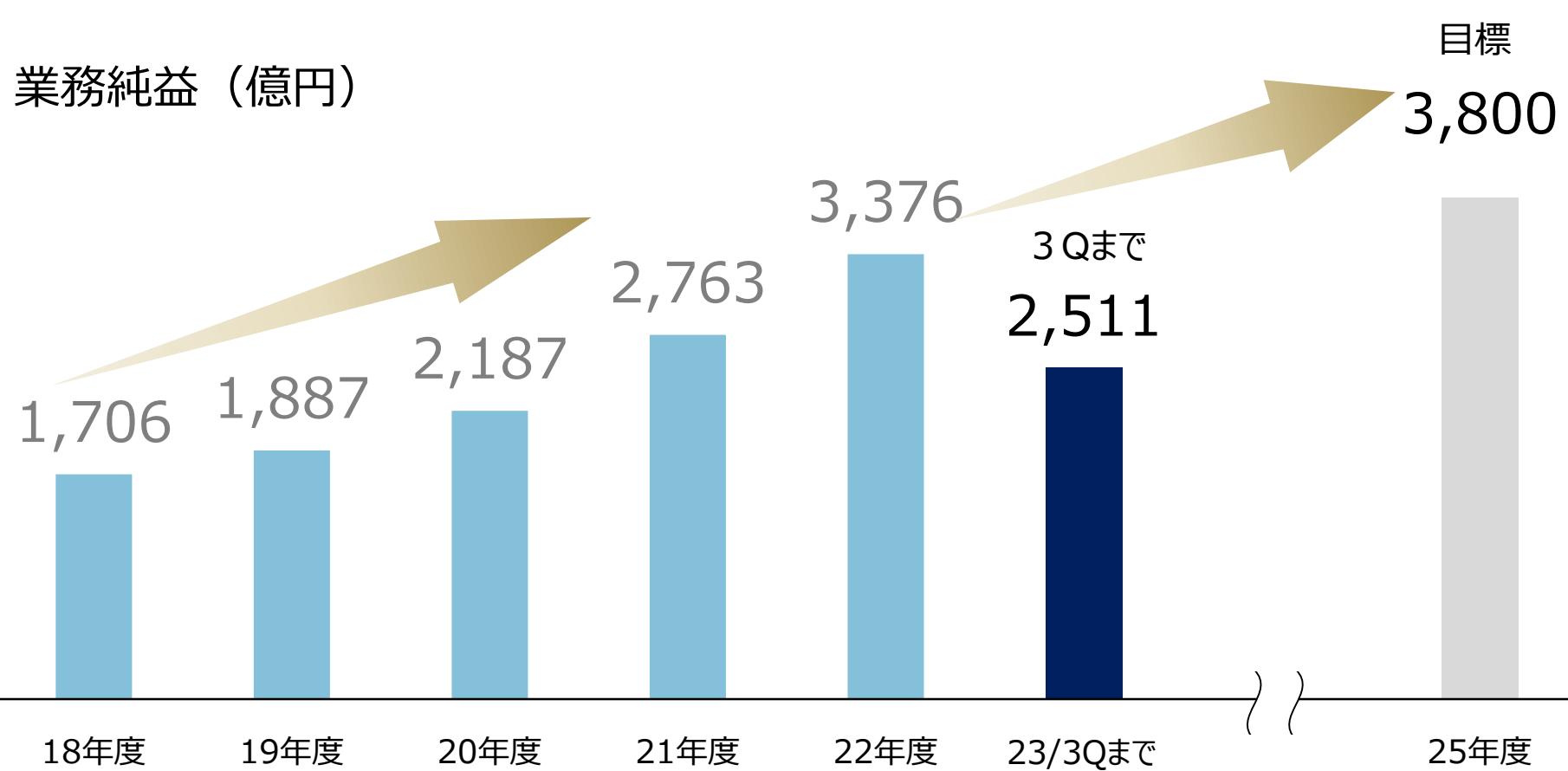
2023年

- Greenhill を買収
 - M&Aビジネスを強化

海外ビジネスの収益推移*

飛躍的な成長が続いています

22年度FG業務粗利益の 約30%



* グループ合算、管理会計（グローバルコーポレート＆インベストメントバンキングカンパニー）、概数。年度の計数を、23年度管理会計ルールに組み替えて算出

2

お客さまの挑戦と、ともに歩んでいく取組み



お客さまの財産を守り育てる



もっと便利に使いやすく



日本企業の発展に貢献



世界と日本の架け橋に



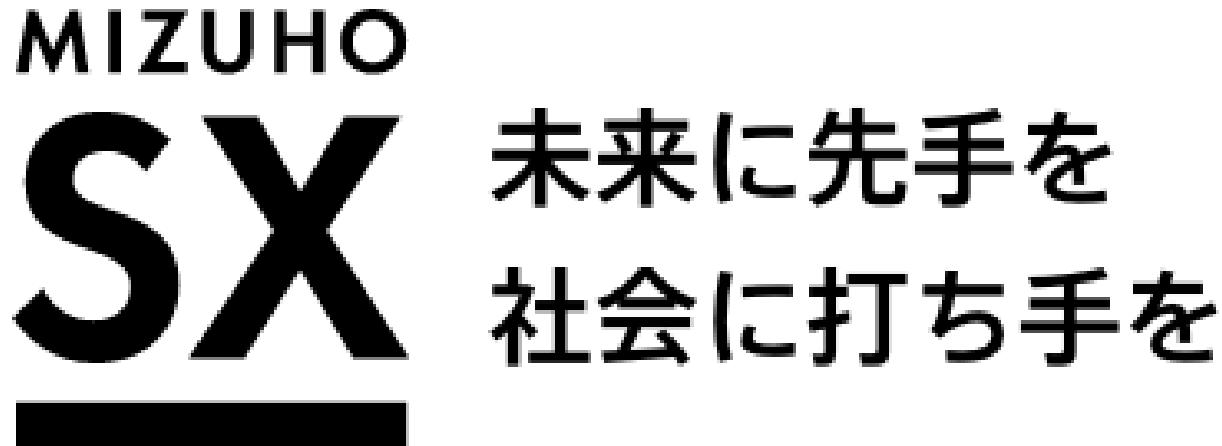
サステナビリティ & イノベーション

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

なぜ、サステナビリティに取り組むべきなのか

SX : サステナビリティ・トランスフォーメーション
Sustainability Transformation



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



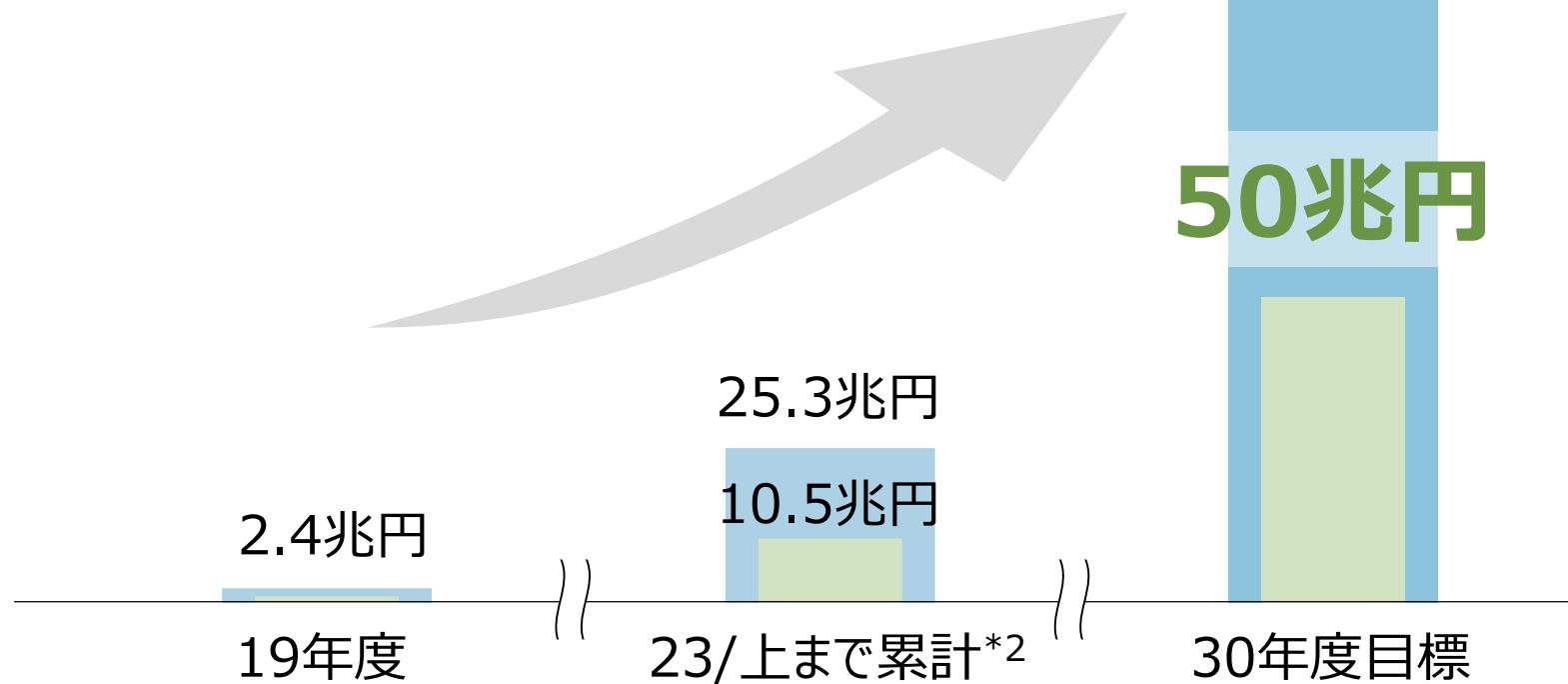
サステナブルファイナンス目標

挑戦するお客さまを、資金面でもしっかりサポートします

- サステナブルファイナンス^{*1}
- うち環境・気候変動対応ファイナンス

グローバル目標
100兆円

50兆円



*1：環境・社会事業を資金使途とするファイナンス、ESGやSDGsへの対応について考慮・評価、または条件とする等、ESG/SDGs対応を支援・促進するファイナンス等 *2: 速報ベース

みずほの強み

高いコンサルティング機能を発揮します

非金融面サポート



金融面サポート

業界随一の産業・環境知見
及び コンサルティング力

リスクに対する目利き力と
ファイナンス実行力

- みずほ銀行 産業調査部 約**110** 名
- みずほリサーチ＆テクノロジーズ 約**3,400** 名
- みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 約**180** 名

みずほがご支援した案件

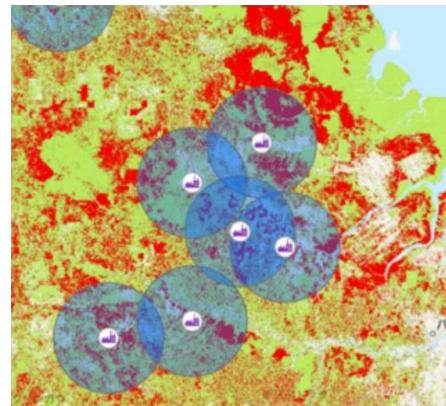
再生可能エネルギー

■ 福島復興 風力発電



自然資本・生物多様性

■ みずほネイチャーポジティブ・デザイン™



自然環境保護エリアの可視化



森林伐採リスクの把握

みずほFG採用情報サイト：プロジェクトムービー



MIZUHO SXサイト：事例紹介



サステナビリティ実績



* お客様のSX支援に向けた対話（22年度実績）

みずほのスポーツ協賛活動

挑戦するアスリートを応援します



みずほの社会貢献活動 - 交通安全

新しく小学校に通うお子さまに

配布枚数 **7,000万枚** 以上



60年記念 黄色い「ピカチュウ」ワッペン



©2024 Pokémon. ©1995-2024 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

みずほの社会貢献活動 - 金融経済教育

「お金」について学んでいただいている

参加者数のべ **1万人超**

営業拠点での授業の様子



子どもサマー・スクール特設ページ

※2024年度の参加者募集・開催についてはホームページにてご案内予定

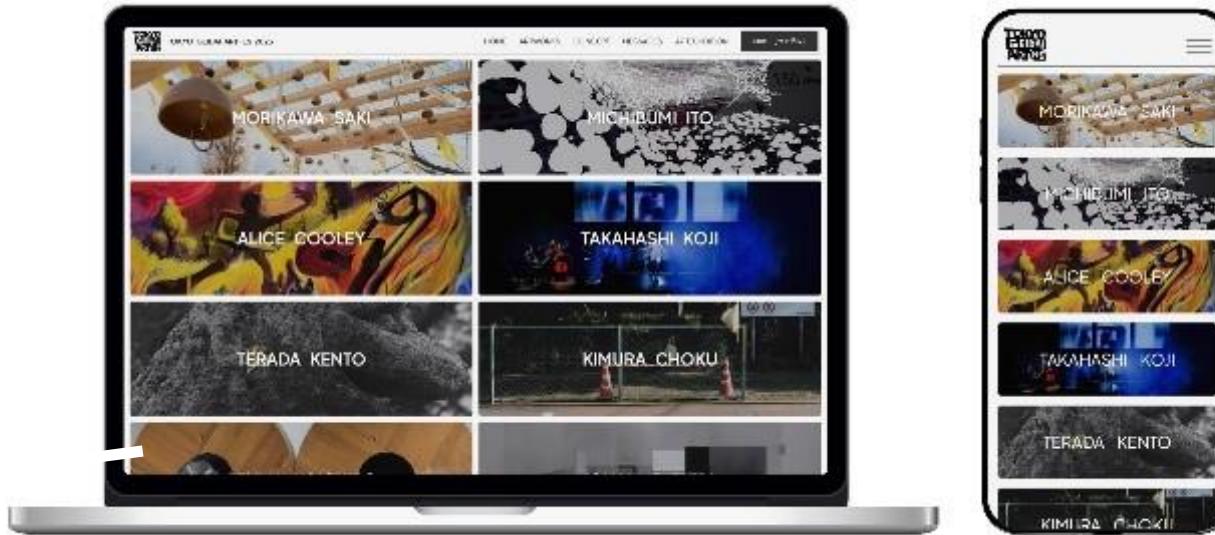


東京藝術大学との連携

アートでもっと元気に



東京藝大アートフェス2023



みずほのIR資料

アート作品で表紙を飾っていただきました

2023年度 中間期決算 会社説明会

2023年11月16日



2023年度 中間期決算 会社説明会資料



〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身近に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリー・やウエルビーイングの実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献とともに、経済だけなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

今回、東京藝術大学デザイン科の学生の方に、〈みずほ〉のバーバス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。株主・投資家の皆さま向けの決算説明会資料の表紙にアート作品を掲載するのは、今回が初の試みです。



作 者 **五十嵐 央**
東京藝術大学 デザイン科 修士1年

作品名 「根付く」

根は複雑に絡みあい、成長する。
あっちへいったり、こっちへいったり。
枝分かれしたはすが、いつの間にかまた一つになり、また枝分かれする。
150年間、複雑に絡み合う社会を観察し、次の展開を想像してきた。
より複雑に不確実になる社会の中で、次はどのように成長していくのか。
自由に、過去に囚われず、新しい創造をしてみる。



2023年度 第3四半期 決算の概要





1 25年度までの目標と注力テーマ



2 お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



3 本日お伝えしたかったこと



4 質疑応答セッション



Appendix

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

ご参加のみなさまへ（みずほを応援いただきたい理由）

みずほは、

「お客様の挑戦に寄り添い、豊かな未来をともに創る」

会社です

1

□ 産業知見や
ネットワークを活用した、
挑戦を支える取組み

2

□ 特徴ある**海外戦略**と、
アメリカを中心とした
高いプレゼンス

3

□ 社員の想いを尊重し、
実現を促す**企業風土**



25年度までの目標と注力テーマ



お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



本日お伝えしたかったこと



質疑応答セッション



Appendix

本日は、ご参加いただきありがとうございました



1 25年度までの目標と注力テーマ



2 お客様の挑戦と、ともに歩んでいく取組み



3 本日お伝えしたかったこと



4 質疑応答セッション



Appendix

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

株価推移*

3,500 (円)



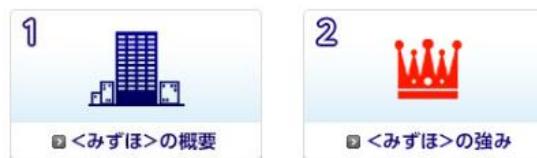
* 2020年10月に実施した株式併合の影響を考慮

株主・お客さまへの情報発信

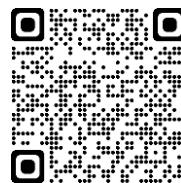
▼ <みずほ>について ▶ 株主・投資家のみなさまへ ▶ サステナビリティ ▶ 採用情報 ▶ ニュースリリース

ホーム > 株主・投資家のみなさまへ > 個人投資家のみなさまへ

個人投資家のみなさまへ



■ 個人投資家のみなさま向けコンテンツ



■ みずほジャーナル



■ SNS

みずほフィナンシャルグループ



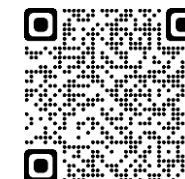
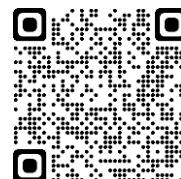
YouTube



Facebook



Instagram



みずほ銀行



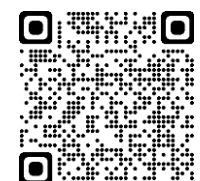
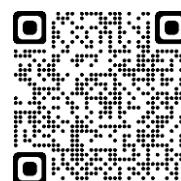
YouTube



LINE



X (旧Twitter)



計数の定義

財務会計

- 連結業務純益 :** 連結粗利益-経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整
- 親会社株主純利益 :** 親会社株主に帰属する当期純利益
- 連結ROE :** 当期純利益 ÷ (株主資本+その他の包括利益累計額 (その他有価証券評価差額金を除く))
- 普通株式等Tier1 (CET1) 比率 (新規制) :** バーゼルⅢ最終化影響を考慮した試算値。資本フロアについては、標準的手法によるリスク・アセットから引当金見合いを控除して算出

管理会計

- グループ合算 :** みずほ銀行、みずほ信託、みずほ証券、アセットマネジメントOne及び主要子会社等の合算

本資料における財務情報は、別途記載のない限り、日本会計基準ベースの数値（本邦の管理会計基準を含む）を使用しています。

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

当社は、東京証券取引所の定める有価証券上場規程等により義務付けられている場合を除き、新たな情報や事象の発生その他理由の如何を問わず、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しを常に更新又は改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業等に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、係る情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

本資料は、米国又は日本国内外を問わず、いかなる証券についての取得申込みの勧誘又は販売の申込みではありません。